JTCかわら版

VOL.216　令和５年１月号

目次

・新年のご挨拶

・「世に生を得るは事を為すにあり」
社内全体会議での北野の訓話より

・ＪＴＣ　News
祝！北野還暦

・ＴＡＸ　News
令和５年以降に居住開始の住宅ローン控除について

・税務調査と書面添付制度

Instagram

KITANOACC7277

JAPAN TOTAL CONSULTING

「世に生を得るは事を為すにあり」

北野　座右の銘

先日の研修会にて、東京大学大学院准教授の斎藤幸平氏のお話を聴く機会がありましたので共有したいと思います。著書の『人新世の「資本論」』(集英社新書、2020 年)が発行部数 45 万部を突破した今話題の哲学者です。

大量生産大量消費型による経済は地球温暖化を加速させているそうです。現在掲げられているＳＤＧｓに取り組んでいても、追いつかないほどの速度だそうです。私は普段マイ箸を使っていますが、マイ箸を毎回洗う方が環境負荷に繋がるのではないか、端材を有効活用している割りばしの方がエコなのではと感じることがあります。それからグリーン技術や電気自動車について。これらの開発が進むと排気ガスが無くなるわけですが、開発をするためにはニッケルというこれまた貴重な資源を使うそうです。そしてその資源はだいたい発展途上国にあり、資源を支配するのは先進国である。これで良いのでしょうか。環境において何が本当に正しいのか、難しい問題です。

また、斎藤氏は資本主義は限界がきていると言います。これからは資本主義の中に社会主義的な思想を入れていき、今の経済のあり方を抜本的に改革しなければならないとのこと。経済成長だけの豊かさを追い求めるのではなく、教育やインフラを平等に提供できる社会を目指し幸福度を上げる方がよいのではないかと話していました。例えば週休３日やこれまで以上の超累進課税、年収を最高 3,000 万最低 500 万へ固定するといった働く環境や所得の整備です。私はこれを聴いて、仕事のモチベーションは上がるのだろうか、アップルやアマゾンのようなアメリカンドリームを目指す天才経営者は出てくるのだろうかと思いました。皆さんも資本主義について今一度考えてみてください。

北野慎二

JTC News

祝！北野還暦

令和４年 11 月 30 日 北野が還暦を迎えました。所員一同よりお祝いの気持ちを込めて、江戸切子のペアグラスと似顔絵付き寄せ書きを贈りました。所員一同、今後も益々活躍される社長についていきたいと思います。皆様におかれましても、末永くお付き合いくださいますようどうぞよろしくお願い申し上げます。